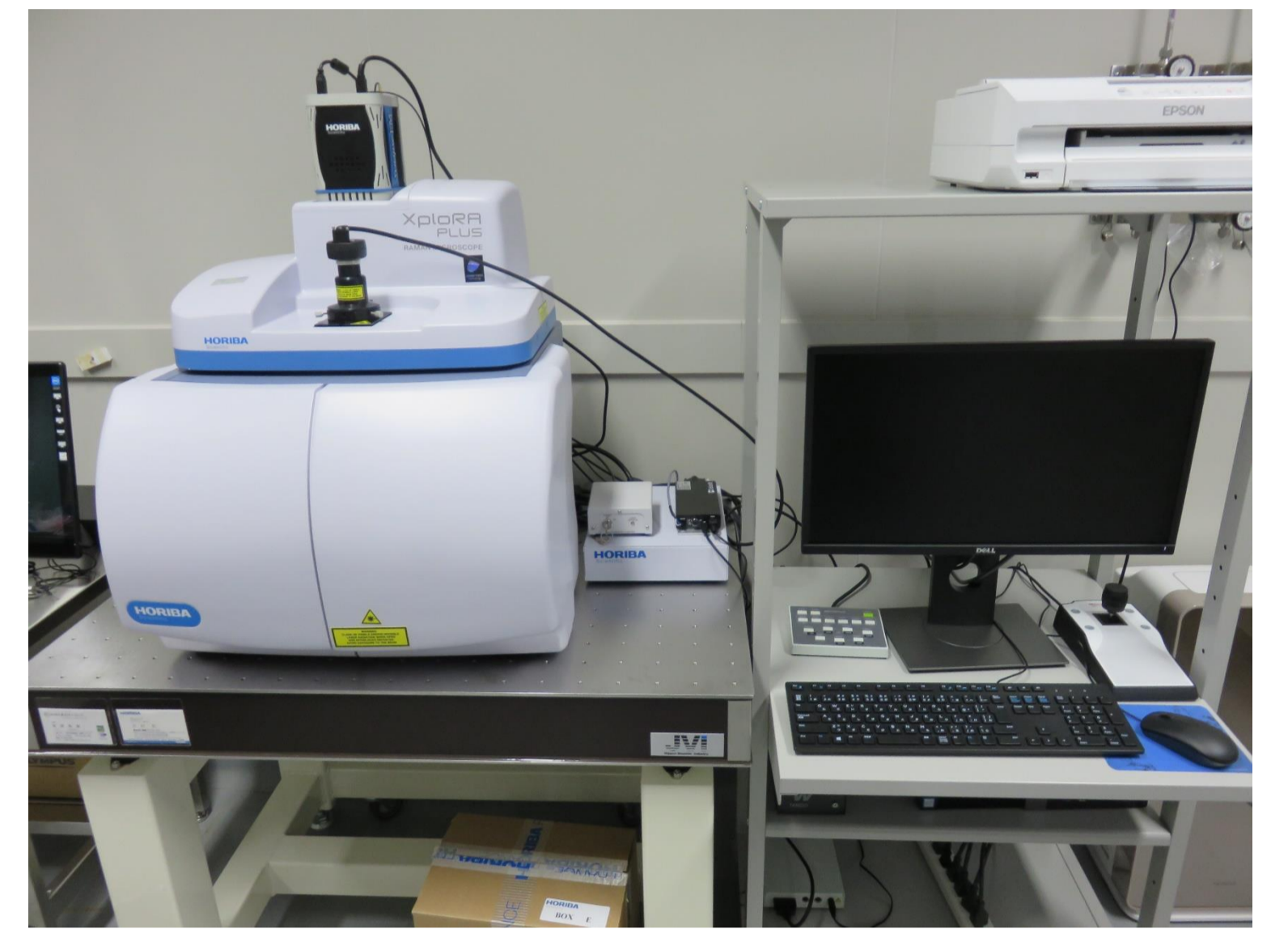


材料表面分析技術の高度化

事業目的

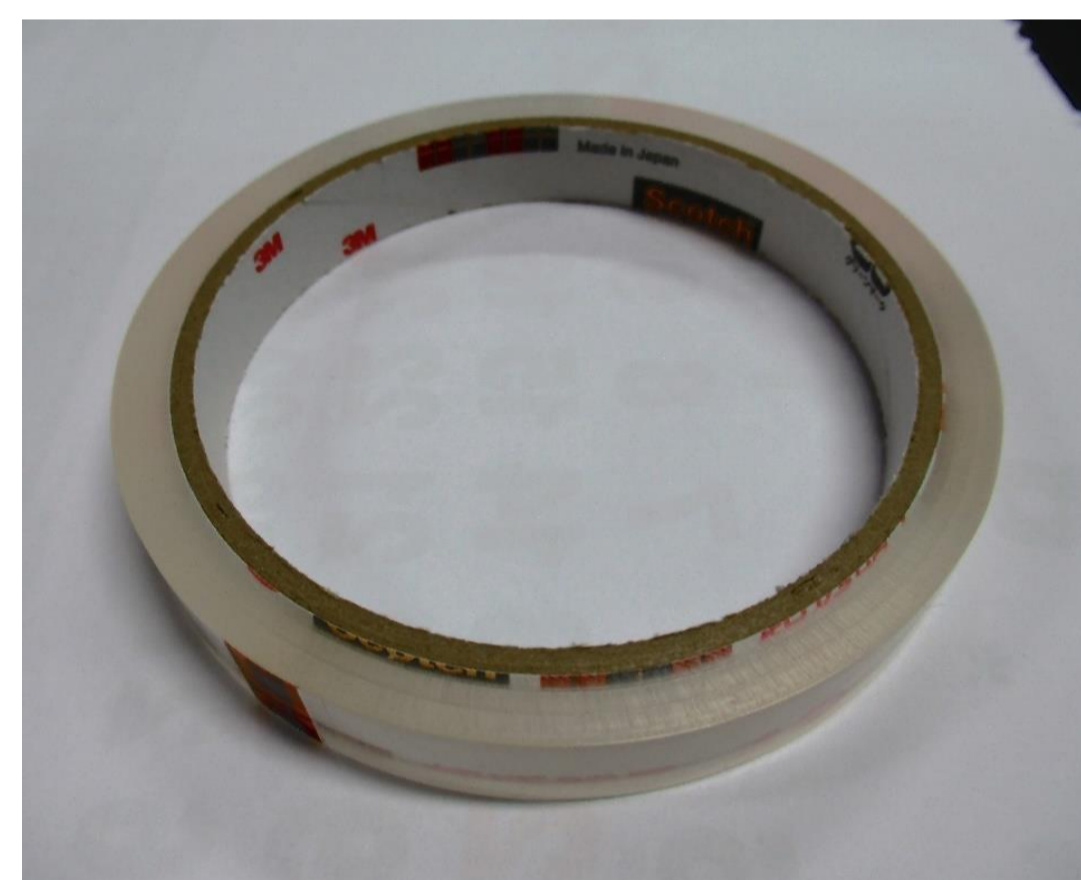
県内企業が抱える材料開発の課題や不具合原因調査等を支援するため、**材料表面の状態**に着目し、ラマン分光法の測定に必要な基本的ノウハウの習得からマッピング分析(深さ方向, 成分分析)についての分析事例蓄積を行いました。



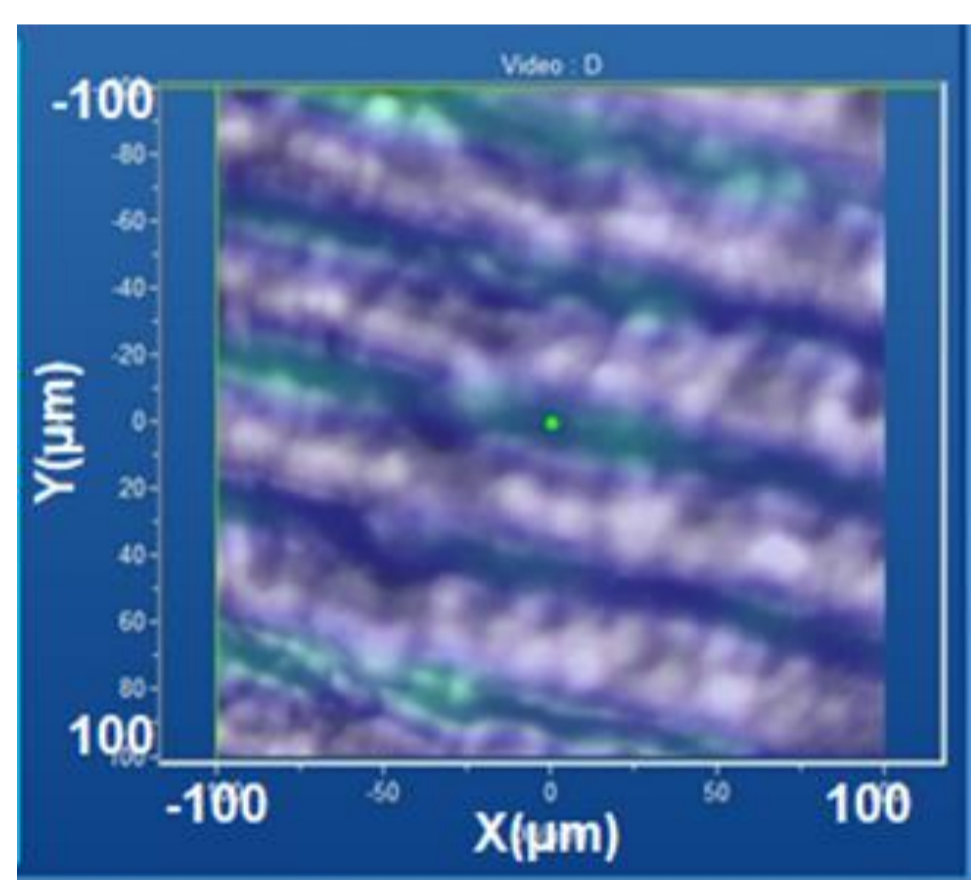
ラマン分光光度計(2017年度導入)
堀場製作所 XploRA PLUS

測定例

超透明テープの**基材**と**粘着剤**の分布測定

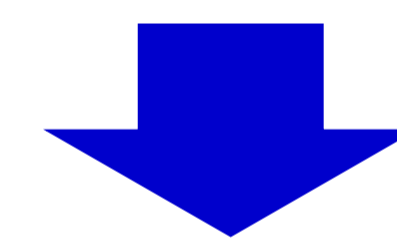


超透明テープ



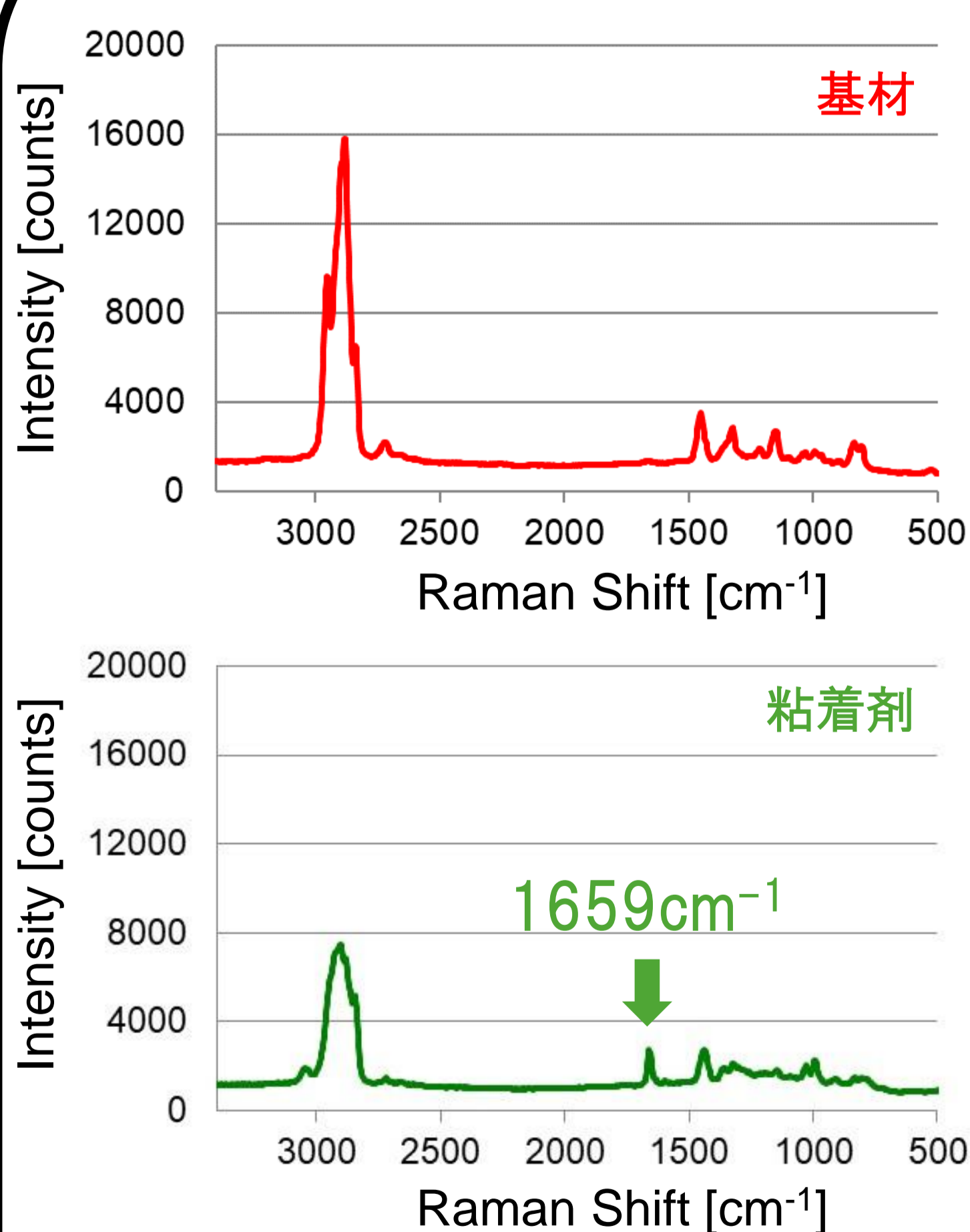
測定試料画像(×20)

- ①点分析: 構成成分の確認、スペクトル比較
- ②マッピング分析(積分強度): 成分分布の確認
- ③CLS解析: 成分分布の明確化



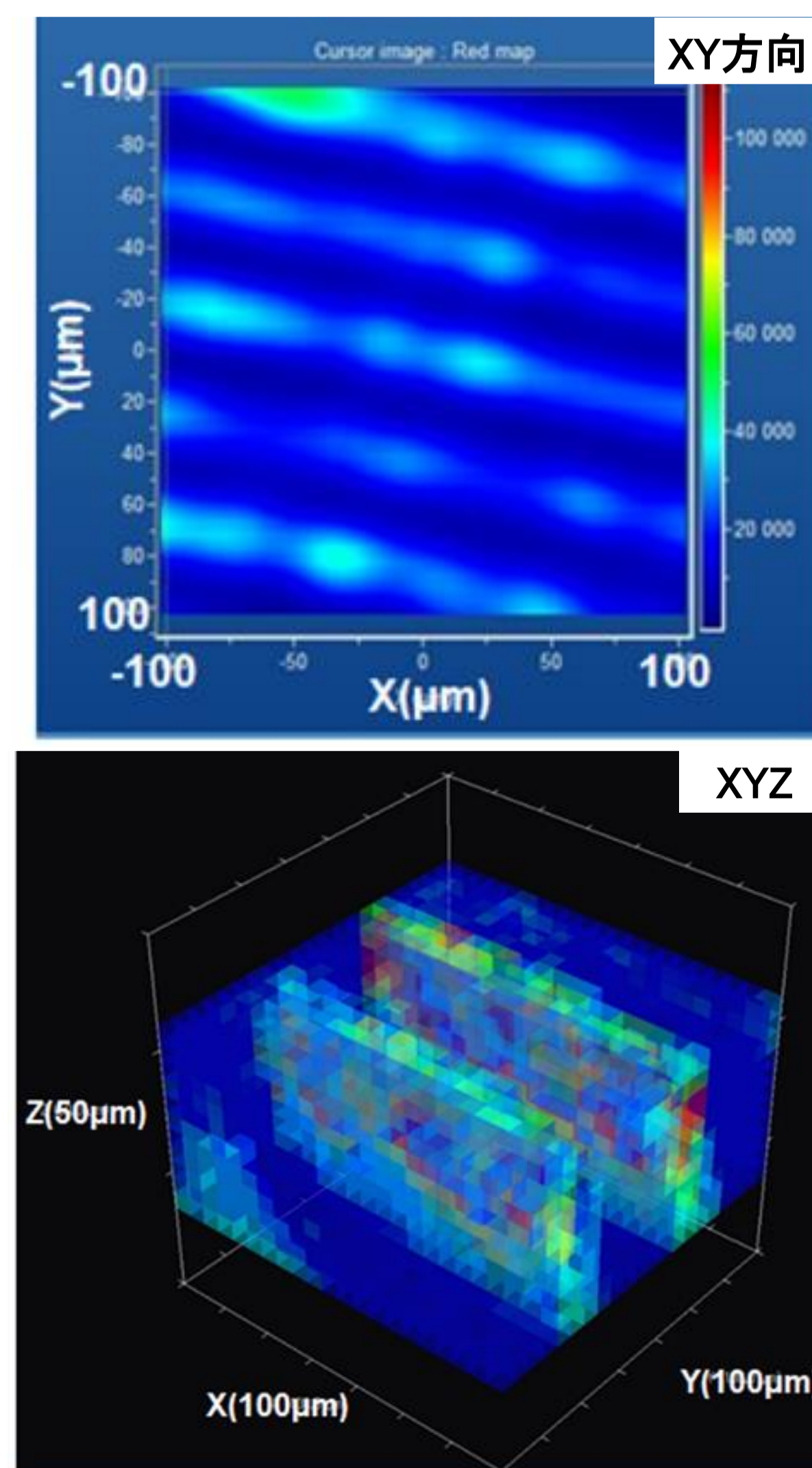
表面分析技術の高度化

①点分析



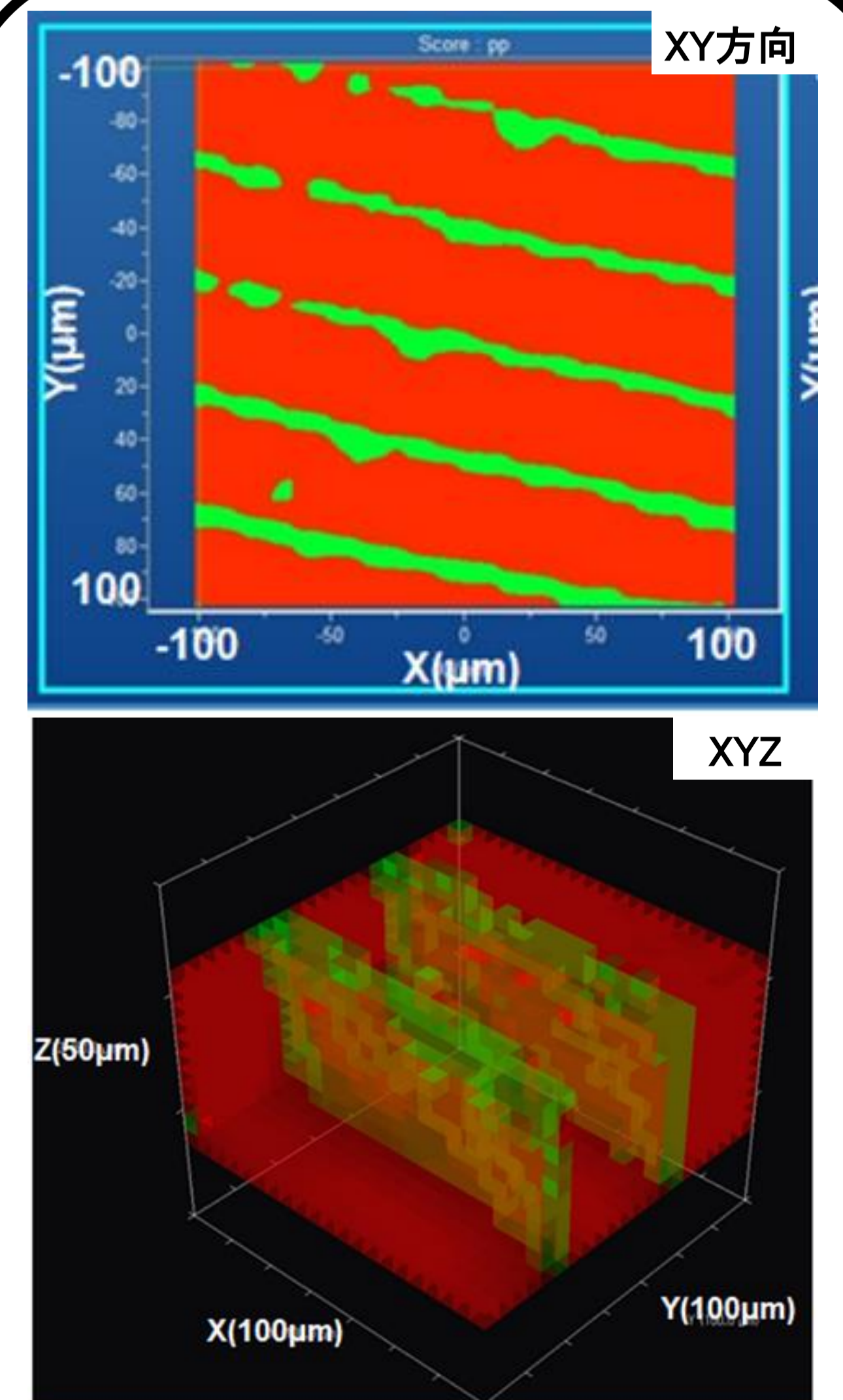
粘着剤のみのピーク確認
 ⇒②マッピング分析
 積分強度1620cm⁻¹~1720cm⁻¹

②マッピング分析



成分分布が不明確
 ⇒③CLS解析

③CLS解析



成分分布の明確化